



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月2日

上場会社名 サトレストランシシステムズ株式会社
 コード番号 8163 URL <http://www.sato-restaurant-systems.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 重里 欣孝

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経営企画本部長 (氏名) 田口 剛

TEL 06-7222-3101

四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	9,572	2.0	△261	—	△407	—	△586	—
28年3月期第1四半期	9,386	5.3	35	△41.0	5	△83.6	△43	—

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 △635百万円 (—%) 28年3月期第1四半期 23百万円 (3.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	△17.67	—
28年3月期第1四半期	△1.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第1四半期	26,743	13,730	51.0	410.57
28年3月期	27,820	14,531	51.8	434.35

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 13,634百万円 28年3月期 14,424百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	—	—	5.00	5.00	5.00
29年3月期	—	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	20,900	6.1	310	△38.5	330	△22.9	△20	—	△0.60
通期	43,400	8.3	850	56.8	940	160.1	400	—	12.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期1Q	33,209,080 株	28年3月期	33,209,080 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

29年3月期1Q	212 株	28年3月期	212 株
----------	-------	--------	-------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期1Q	33,208,868 株	28年3月期1Q	29,458,917 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①連結業績について

(単位：百万円)

	平成28年3月期第1四半期			平成29年3月期第1四半期		
	実績	対前年同期 増減額	対前年同期 増減率	実績	対前年同期 増減額	対前年同期 増減率
売上高	9,386	468	5.3%	9,572	185	2.0%
営業利益	35	△24	△41.0%	△261	△296	—
経常利益	5	△26	△83.6%	△407	△412	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△43	△30	—	△586	△543	—

当第1四半期連結累計期間における売上高につきましては、新規出店による店舗数の増加により増収となりましたが、利益面においては、既存店売上高が前年を下回ったことや、労務環境整備のための人件費の増加などにより売上高販管費比率が上昇し、さらに円高の進行による為替差損を計上した結果、大幅な減益となりました。

②出店施策について

(単位：店舗数)

業態名	前連結会計 年度末	出店実績	閉店実績	当第1四半期 連結会計期間末	当連結会計年 度出店計画
和食さと	201 (—)	— (—)	— (—)	201 (—)	4 (—)
すし半	14 (—)	— (—)	— (—)	14 (—)	— (—)
天井・天ぶら本舗さん天	22 (—)	1 (—)	— (—)	23 (—)	25 (5)
にぎり長次郎	53 (—)	1 (—)	— (—)	54 (—)	6 (—)
にぎり忠次郎	6 (—)	— (—)	— (—)	6 (—)	4 (—)
かつや	28 (14)	4 (2)	— (—)	32 (16)	11 (6)
都人	18 (17)	— (—)	1 (1)	17 (16)	— (—)
国内合計	342 (31)	6 (2)	1 (1)	347 (32)	50 (11)
海外店舗	6 (5)	1 (—)	— (—)	7 (5)	— (—)
国内外合計	348 (36)	7 (2)	1 (1)	354 (37)	50 (11)

() 内はFC店舗数、海外においては合弁事業店舗数

当第1四半期連結累計期間における出店実績は、「天井・天ぶら本舗さん天」業態で直営1店舗、「にぎり長次郎」業態で直営1店舗、「かつや」業態で直営2店舗、FC2店舗の計4店舗、全業態で国内合計6店舗の出店を行いました。

また、海外展開におきましては、台湾にて「和食さと 中壠店」を新規出店し、海外店舗数は台湾2店舗、インドネシア2店舗、タイ3店舗の合計7店舗となりました。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末の国内外のグループ合計店舗数は354店舗となりました。

③その他の施策について

「和食さと」業態の営業施策としましては、平成28年3月末にしゃぶしゃぶ食べ放題「さとしゃぶ」に「豚しゃぶコース」を追加し食べ放題のバリエーションを増加させたのに続き、5月には「さとしゃぶ」ご注文のお客様を対象とした生ビール半額キャンペーンを実施するなど核商品「さとしゃぶ」の販売強化に引き続き努めました。店舗設備面では、2店舗の改装を実施いたしました。

「さん天」業態におきましては、中部地区で初となる鳴海店（愛知県）を新規出店し、売上高は計画を上回り好調に推移しております。

「にぎり長次郎」業態におきましては、長次郎15周年スペシャル企画をスタートさせ、春の旬穫祭として真鯛等の旬の食材を使用した料理を販売し好評をいただきました。

当社グループは、外食事業の単一セグメントであるため、セグメントの業績に関する記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、267億43百万円（前連結会計年度末比10億76百万円の減少）となりました。

(資産)

流動資産は、95億87百万円（前連結会計年度末比11億78百万円の減少）となりました。これは主に、現金及び預金の減少11億4百万円などであります。

固定資産は、171億45百万円（前連結会計年度末比91百万円の増加）となりました。これは主に、投資有価証券の増加89百万円などであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、68億97百万円（前連結会計年度末比4億55百万円の減少）となりました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金の減少1億85百万円、買掛金の減少1億23百万円などあります。

固定負債は、61億16百万円（前連結会計年度末比1億79百万円の増加）となりました。これは主に、長期借入金の減少4億70百万円及び社債の増加6億40百万円などあります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、137億30百万円（前連結会計年度末比8億1百万円の減少）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年5月11日の決算短信に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、平成28年8月2日に株式会社UG・宇都宮との間で「めしや 宮本むなし」事業取得（子会社化）に関する株式譲渡契約の締結及び株式会社TWO SIXの株主との間で全株式の取得に関する株式譲渡契約の締結をいたしました。これによる当社の連結業績に与える影響については、現在精査中であり、平成29年3月期第2四半期決算短信発表時を目的に、詳細について開示させて頂く予定です。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

（3）追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,616,381	7,511,900
売掛金	603,001	541,540
商品	41,279	41,176
原材料及び貯蔵品	710,854	748,493
繰延税金資産	312,739	222,471
その他	481,583	521,967
流動資産合計	10,765,840	9,587,550
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,456,152	2,514,935
土地	4,742,506	4,742,506
その他(純額)	2,174,772	2,232,896
有形固定資産合計	9,373,431	9,490,338
無形固定資産		
のれん	1,116,373	1,093,896
その他	977,751	933,406
無形固定資産合計	2,094,124	2,027,303
投資その他の資産		
投資有価証券	805,407	894,582
長期貸付金	833,744	844,818
差入保証金	3,039,010	3,022,035
繰延税金資産	445,963	425,030
その他	475,766	454,876
貸倒引当金	△13,505	△13,121
投資その他の資産合計	5,586,386	5,628,222
固定資産合計	17,053,942	17,145,864
繰延資産	649	10,051
資産合計	27,820,432	26,743,467

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,179,980	1,056,442
1年内償還予定の社債	50,000	160,000
1年内返済予定の長期借入金	2,437,500	2,252,000
未払金	2,137,639	2,048,361
未払法人税等	230,746	128,558
賞与引当金	272,916	159,487
その他	1,043,361	1,092,244
流動負債合計	7,352,143	6,897,094
固定負債		
社債	—	640,000
長期借入金	3,759,945	3,289,593
再評価に係る繰延税金負債	274,908	274,908
繰延税金負債	83,745	81,966
役員退職慰労引当金	29,578	29,578
資産除去債務	510,772	526,752
その他	1,277,478	1,273,337
固定負債合計	5,936,428	6,116,136
負債合計	13,288,571	13,013,231
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,532,856	8,532,856
資本剰余金	4,981,675	4,981,675
利益剰余金	1,400,978	648,083
自己株式	△173	△173
株主資本合計	14,915,337	14,162,441
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	108,976	72,118
土地再評価差額金	△600,061	△600,061
その他の包括利益累計額合計	△491,085	△527,943
非支配株主持分	107,608	95,737
純資産合計	14,531,860	13,730,235
負債純資産合計	27,820,432	26,743,467

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	9,386,985	9,572,819
売上原価	3,222,149	3,273,103
売上総利益	6,164,836	6,299,716
販売費及び一般管理費	6,129,596	6,561,407
営業利益又は営業損失(△)	35,239	△261,691
営業外収益		
受取利息	3,298	3,505
受取配当金	7,038	6,924
受取家賃	25,480	17,666
為替差益	21,384	-
雑収入	13,733	10,390
営業外収益合計	70,934	38,486
営業外費用		
支払利息	35,244	31,229
不動産賃貸費用	20,686	14,394
株式交付費	28,261	-
為替差損	-	126,134
雑損失	16,833	12,484
営業外費用合計	101,025	184,243
経常利益又は経常損失(△)	5,147	△407,448
特別損失		
固定資産除却損	3,101	5,800
店舗閉鎖損失	-	888
特別損失合計	3,101	6,689
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	2,046	△414,137
法人税、住民税及び事業税	106,854	76,132
法人税等調整額	△50,508	108,460
法人税等合計	56,345	184,592
四半期純損失(△)	△54,299	△598,729
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△10,936	△11,870
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△43,362	△586,859

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
四半期純損失(△)	△54,299	△598,729
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	77,682	△36,858
その他の包括利益合計	77,682	△36,858
四半期包括利益	23,383	△635,588
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	34,320	△623,718
非支配株主に係る四半期包括利益	△10,936	△11,870

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、外食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

(株式取得による会社の買収)

当社は、平成28年8月2日開催の取締役会において、株式会社UG・宇都宮の運営する「めしや 宮本むなし」事業を譲り受けることを目的として、株式会社宮本むなしの全株式を取得することを決議し、同日、株式譲渡契約を締結いたしました。

なお、「めしや 宮本むなし」事業の譲り受けについては、株式会社UG・宇都宮の子会社である株式会社宮本むなしに対し、「めしや 宮本むなし」事業が吸収分割により有効に承継された後、株式会社宮本むなしの株式100%を取得し完全子会社化することで行う予定です。

また、同日開催の取締役会において、株式会社TWO SIXの代表取締役であり、かつ100%株主である藤村敏之氏との間で、「宮本むなし JR名古屋駅前店」の店舗不動産を保有する株式会社TWO SIXの株式100%を取得し完全子会社化することを決議し、同日、株式譲渡契約を締結いたしました。

(1) 株式取得の目的

「めしや 宮本むなし」は、主に駅前繁華街立地において、大衆的な価格で定食を提供するチェーンとして、関西圏を中心に、現在71店舗を展開しております。

本件は、低価格業態の拡充という当社グループの中期経営方針と合致し、郊外型を主力とする当社の出店立地を補完するとともに、購買や物流面でのシナジー創出が見込まれ、当社の収益基盤強化に大きく寄与するものと考えております。

加えて、今後進行する少子高齢化、個食化、都心回帰といった社会の趨勢に合致しており、当社グループでの経営により、さらに魅力的な商品提案も可能となり、将来大きな成長が見込める業態と判断し、株式を取得することといたしました。

また、「めしや 宮本むなし」事業の旗艦店である「宮本むなし JR名古屋駅前店」の営業の維持等の支配を確保するために必須と判断し、株式会社TWO SIXの株式を取得することといたしました。

(2) 株式取得の相手先の名称

株式会社宮本むなし：株式会社UG・宇都宮

株式会社TWO SIX：藤村敏之

(3) 買収する会社の名称、事業内容、規模

(株式会社宮本むなし)

主な事業内容：飲食店の経營業務

規模（平成28年2月期）

資本金 1,000千円

売上高 3,365,375千円

なお、売上高は株式会社UG・宇都宮が運営する「めしや 宮本むなし」事業の売上高を集計したものです。

(株式会社TWO SIX)

主な事業内容：商業ビルの賃貸及びそれに付随する事業

規模（平成28年2月期）

資本金 1,000千円

売上高 12,643千円

(4) 株式取得の時期

平成28年9月1日（予定）

(5) 取得する株式の数、取得価額及び取得後の持分比率

(株式会社宮本むなし)

取得株式数：101株

取得価額：普通株式1,850,000千円、アドバイザー費用90,000千円(概算)

取得後の持分比率：100%

(株式会社TWO SIX)

取得株式数：100株

取得価額：普通株式550,000千円、アドバイザー費用23,000千円(概算)

取得後の持分比率：100%

(6) 取得資金の調達

主に金融機関からの借入等をもって充当する予定です。